

こんにちは。福岡市長の高島宗一郎です。

3月11日、東日本大震災が発生してから、市民の皆さまには義援金をお願いしてまいりました。

その義援金が、実は現在までで、なんと6億3千万円の温かいお気持ちが寄せられました。

本当にご協力いただきまして、ありがとうございます。

皆さまから寄せられたお気持ちを、市役所としては一刻も早く届ける責任があります。お預かりした義援金は、よその政令市には無い取り組みとして、国が示した配分基準を基に、独自に被害に応じた計算をして、被災された県に直接義援金をお届けするというやり方を取っています。これによって、どこよりも早く、皆さまのお気持ちをお届けすることができます。しっかりと皆さまからお預かりした義援金は、被災された皆さまへとお届けしておりますので、ご安心いただきたいと思います。

また現在どういう状況になっているかという、状況も変化して、ニーズもいろいろ変わってきています。今、実際に福岡に避難している方もいらっしゃる、逆にこちらからNPO法人など、いろんな形で現地に行って活動されている方もいらっしゃる。こういう方々を支援することはできないかということで、行政単独だと動き辛い部分もあるんですが、ここは、「オール福岡」ということで、福岡商工会議所ですとか、青年会議所の皆さんと一緒に、「がんばろう日本・ふくおか応援基金」というものを作りました。ここに募金をいただいて、その基金を基にして福岡に避難している皆さんに、お気持ちをお分けする。もしくは、NPO法人の後押しをする。こういった活動を行っているところでございます。「がんばろう日本・ふくおか応援基金」は、募金箱が8月31日まで、福岡市内のいろんな施設に置いていますので、ぜひこちらの方にもご協力をお願いしたいと思っております。

それからボランティアについても、福岡市役所の職員と、市民の皆さまとが一つになって、「ふくおか元気応援隊」というものを結成しました。この「ふくおか元気応援隊」は、現在のところ、4期まで活動しており、合わせて148名の皆さまが、実際に被災地に行って活動をしていただいているということでございます。これは9月まで、10期派遣する予定ですし、これもぜひ多くの皆さんのご参加をお願いしたいと思っております。

福岡としては、ある意味、被災地と一番遠い所にいるわけですから、私たちができること、それは、福岡の元気を、しっかりと被災地にお届けすることだと思っています。それは、企業の活動もそうですし、いろんな形を通して、この元気で日本全体を元気に引っ張っていくんだ、こういう気概を持って私たちが頑張っている所でございます。

私たちは福岡西方沖地震で全国の皆さまから温かいご支援を頂いて、私たちが支えていただきました。今度は私たちが恩返しをする番だということで、これは行政としても、しっかりとこれから息長く取り組んでいきたいと思っておりますので、皆さまのご協力もよろしくお願いたします。